

2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社タツミ

コード番号 7268 URL <https://www.tatsumi-ta.co.jp>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)伏島 利行

問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)木村 英典 (TEL)0284-71-3131

四半期報告書提出予定日 2021年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	3,222	41.3	△24	—	△40	—	△34	—
2021年3月期第2四半期	2,280	△28.5	△347	—	△331	—	△436	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 △50百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △558百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	△5.75	—
2021年3月期第2四半期	△72.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	8,636	3,693	32.6
2021年3月期	8,693	3,743	32.6

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 2,811百万円 2021年3月期 2,836百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00			
2022年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	6,100	5.6	10	—	△20	—	△25	—	△4.17	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期2Q	6,000,000株	2021年3月期	6,000,000株
2022年3月期2Q	4,827株	2021年3月期	4,827株
2022年3月期2Q	5,995,173株	2021年3月期2Q	5,995,173株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の生産活動や設備投資には持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続いております。

当社グループの主要な取引先である自動車業界では、新車販売台数はコロナ禍の影響で大きく落ち込んだ前年同期実績をわずかに上回りましたが、半導体不足や東南アジアからの部品供給不足により自動車各社は減産を余儀なくされており、先行きの不透明感が強まっております。

このような経済環境のなか、当第2四半期連結累計期間の当社グループの連結業績は、売上高は3,222百万円（前年同期比41.3%増）、営業損失は24百万円（前年同期は347百万円の営業損失）、経常損失は40百万円（前年同期は331百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は34百万円（前年同期は436百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産の合計は、8,636百万円（前連結会計年度末8,693百万円）となり、57百万円減少しました。流動資産は4,155百万円となり235百万円減少し、固定資産は4,481百万円となり178百万円増加しました。

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、4,942百万円（前連結会計年度末4,950百万円）となり、7百万円減少しました。流動負債は4,150百万円となり5百万円減少し、固定負債は792百万円となり1百万円減少しました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、3,693百万円（前連結会計年度末3,743百万円）となり、50百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）連結業績予想につきましては、本日、別途開示しました「2022年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び2022年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,176,738	956,610
受取手形及び売掛金	924,174	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	830,657
電子記録債権	793,606	734,734
商品及び製品	113,447	108,693
仕掛品	367,936	440,142
原材料及び貯蔵品	593,300	692,483
未収入金	348,640	312,828
未収法人税等	254	-
その他	72,901	79,441
流動資産合計	4,391,000	4,155,590
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,062,683	3,073,571
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,957,348	△1,992,405
建物(純額)	1,105,335	1,081,165
構築物	179,988	179,988
減価償却累計額	△149,562	△151,181
構築物(純額)	30,426	28,807
機械及び装置	6,029,395	6,018,696
減価償却累計額及び減損損失累計額	△4,591,641	△4,547,869
機械及び装置(純額)	1,437,754	1,470,827
車両運搬具	23,797	23,936
減価償却累計額及び減損損失累計額	△20,376	△21,549
車両運搬具(純額)	3,421	2,387
工具、器具及び備品	558,455	553,520
減価償却累計額及び減損損失累計額	△476,875	△485,746
工具、器具及び備品(純額)	81,579	67,774
土地	249,490	251,120
リース資産	524,949	953,096
減価償却累計額及び減損損失累計額	△177,778	△193,537
リース資産(純額)	347,171	759,558
建設仮勘定	579,505	334,136
有形固定資産合計	3,834,683	3,995,777
無形固定資産		
借地権	4,892	4,892
ソフトウェア	2,261	1,748
その他	847	847
無形固定資産合計	8,001	7,488

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	43,466	37,522
長期前払費用	8	8
退職給付に係る資産	311,875	324,672
繰延税金資産	17,304	29,583
その他	87,648	85,946
投資その他の資産合計	460,303	477,734
固定資産合計	4,302,987	4,481,000
資産合計	8,693,988	8,636,590
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	349,324	311,138
短期借入金	2,493,960	2,388,775
1年内返済予定の長期借入金	9,921	-
リース債務	37,426	41,172
未払金及び未払費用	1,121,600	1,246,344
未払法人税等	12,218	33,312
賞与引当金	112,401	114,416
役員賞与引当金	1,749	2,733
その他	17,274	12,148
流動負債合計	4,155,875	4,150,041
固定負債		
リース債務	695,945	681,004
長期未払金	5,970	-
繰延税金負債	62,231	78,258
退職給付に係る負債	30,024	33,518
固定負債合計	794,171	792,781
負債合計	4,950,046	4,942,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	715,000	715,000
資本剰余金	621,796	621,796
利益剰余金	1,589,348	1,554,886
自己株式	△1,808	△1,808
株主資本合計	2,924,336	2,889,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,575	4,354
為替換算調整勘定	△62,916	△47,350
退職給付に係る調整累計額	△33,336	△34,975
その他の包括利益累計額合計	△87,677	△77,971
非支配株主持分	907,282	881,865
純資産合計	3,743,941	3,693,767
負債純資産合計	8,693,988	8,636,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	2,280,169	3,222,411
売上原価	2,339,881	2,906,578
売上総利益又は売上総損失(△)	△59,711	315,833
販売費及び一般管理費	287,647	340,338
営業損失(△)	△347,359	△24,505
営業外収益		
受取利息	1,499	2,651
受取配当金	1,539	1,204
助成金収入	40,082	-
為替差益	-	1,984
その他	4,852	6,594
営業外収益合計	47,974	12,434
営業外費用		
支払利息	14,411	28,206
為替差損	15,560	-
その他	1,710	290
営業外費用合計	31,682	28,496
経常損失(△)	△331,067	△40,567
特別利益		
固定資産売却益	4,136	12
特別利益合計	4,136	12
特別損失		
固定資産除却損	749	2,534
減損損失	-	198
投資有価証券評価損	276	-
事業構造改善費用	142,040	-
借入金繰上返済費用	14,441	-
特別損失合計	157,507	2,733
税金等調整前四半期純損失(△)	△484,438	△43,287
法人税等	8,316	25,992
四半期純損失(△)	△492,755	△69,280
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△56,490	△34,818
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△436,264	△34,462

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△492,755	△69,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,539	△4,220
為替換算調整勘定	△70,166	24,967
退職給付に係る調整額	△1,407	△1,639
その他の包括利益合計	△66,034	19,106
四半期包括利益	△558,789	△50,174
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△475,963	△24,756
非支配株主に係る四半期包括利益	△82,825	△25,417

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△484,438	△43,287
減価償却費	184,923	184,124
減損損失	-	198
有形固定資産除却損	749	2,534
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△8,259	△12,797
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9,826	3,099
賞与引当金の増減額(△は減少)	△38,608	2,014
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,857	984
受取利息及び受取配当金	△3,038	△3,856
支払利息	14,411	28,206
為替差損益(△は益)	41	△16
有形固定資産売却損益(△は益)	△4,136	△12
投資有価証券売却損益(△は益)	276	-
事業構造改善費用	142,040	-
借入金繰上返済費用	14,441	-
売上債権の増減額(△は増加)	326,623	192,419
棚卸資産の増減額(△は増加)	266,353	△158,794
仕入債務の増減額(△は減少)	△68,387	△39,462
未払金の増減額(△は減少)	△508,921	△108,225
その他の流動資産の増減額(△は増加)	42,404	32,133
その他の流動負債の増減額(△は減少)	21,679	△103,345
小計	△93,877	△24,082
利息及び配当金の受取額	3,042	3,856
利息の支払額	△13,764	△30,581
割増退職金の支払額	△3,008	-
借入金繰上返済費用の支払額	△14,441	-
法人税等の支払額	△2,914	△555
営業活動によるキャッシュ・フロー	△124,963	△51,363
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	150,000	-
有形固定資産の取得による支出	△506,974	△48,088
有形固定資産の売却による収入	4,136	13
無形固定資産の取得による支出	△23	-
投資有価証券の取得による支出	△123	△125
投資その他の資産の増減額(△は増加)	23,459	17,504
投資活動によるキャッシュ・フロー	△329,526	△30,695
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,388,115	△109,810
長期借入金の返済による支出	△940,054	△9,921
リース債務の増加による収入	565,034	-
リース債務の返済による支出	△30,504	△18,387
配当金の支払額	△219	△325
財務活動によるキャッシュ・フロー	982,371	△138,444
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,325	375
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	517,556	△220,128
現金及び現金同等物の期首残高	825,492	1,176,738
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,343,048	956,610

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

当社グループは、自動車用部品事業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年9月30日
日本	2,576
米州	434
アジア	211
顧客との契約から生じる収益	3,222
その他の収益	—
外部顧客への売上高	3,222

(注) 当社グループは、自動車用部品事業の単一セグメントであるため、顧客との契約から生じる収益を分解した情報についてセグメントに関連付けて記すことはしていません。